

RST実態調査アンケート

2017.8.1～9.1

日本呼吸療法医学会
チーム医療推進委員会
委員長：長谷川隆一

集計担当

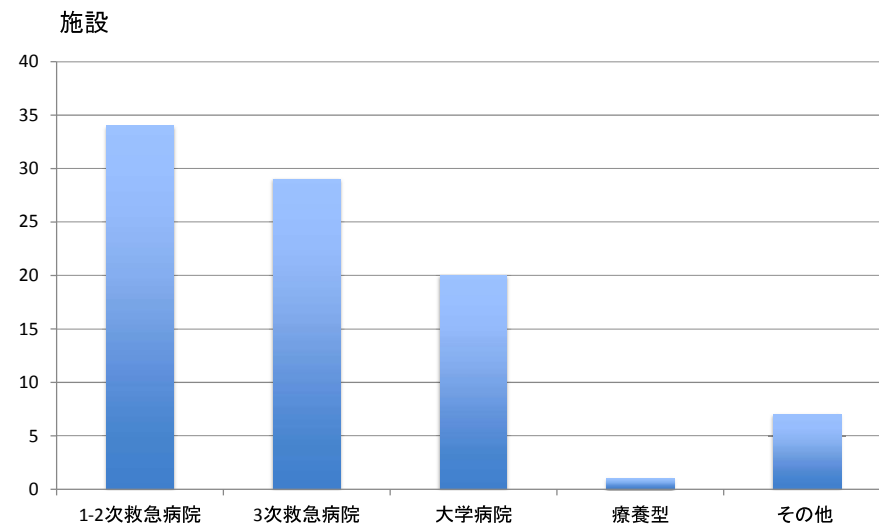
JA広島総合病院 臨床工学科 荒田晋二

回答施設数

91施設

対象施設
日本呼吸療法学会、日本呼吸ケアリハビリテーション学会
入会施設(1施設1回答)

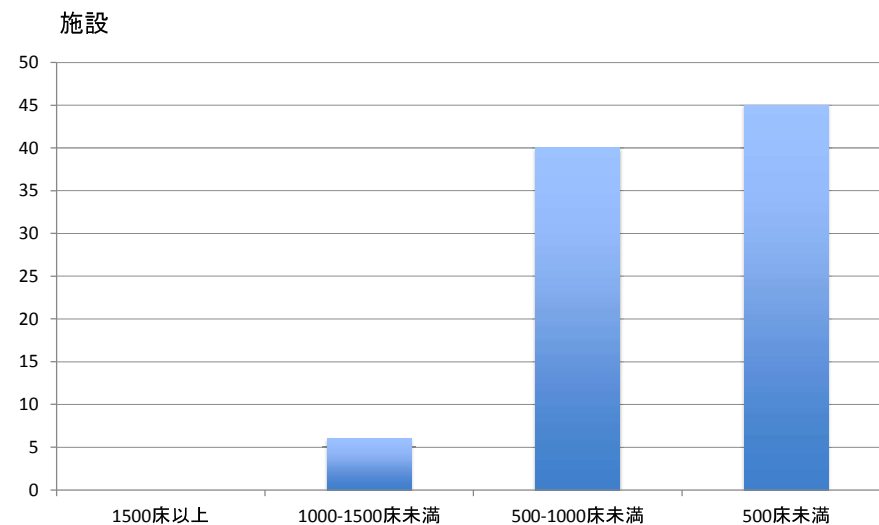
施設形態



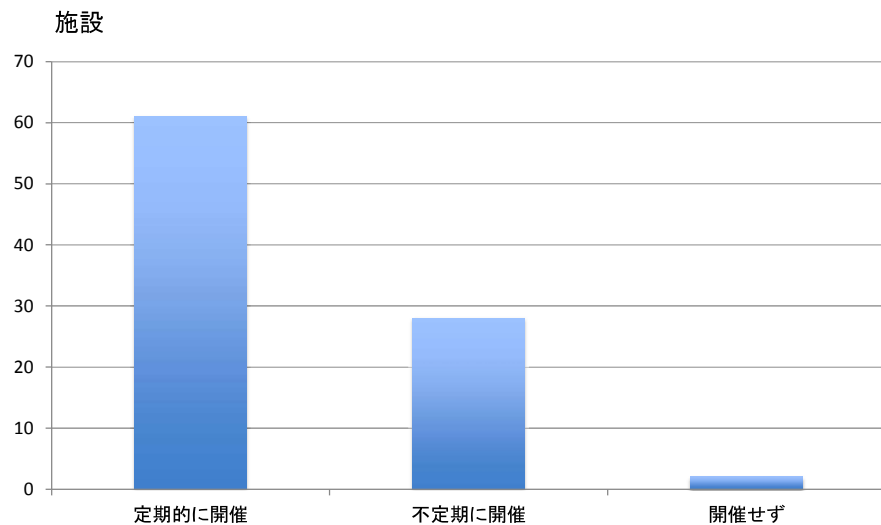
「その他」

- 有床診療所。
- 特定短期入所施設(在宅人工呼吸療法)。
- 慢性期、NICU後方支援病院。
- 呼吸器・重心・神経難病に特化した医療機関。
- 小児の専門病院であり、3次救急病院でもあります。
- 回復期リハビリテーション病院。
- 小児・周産期センター。

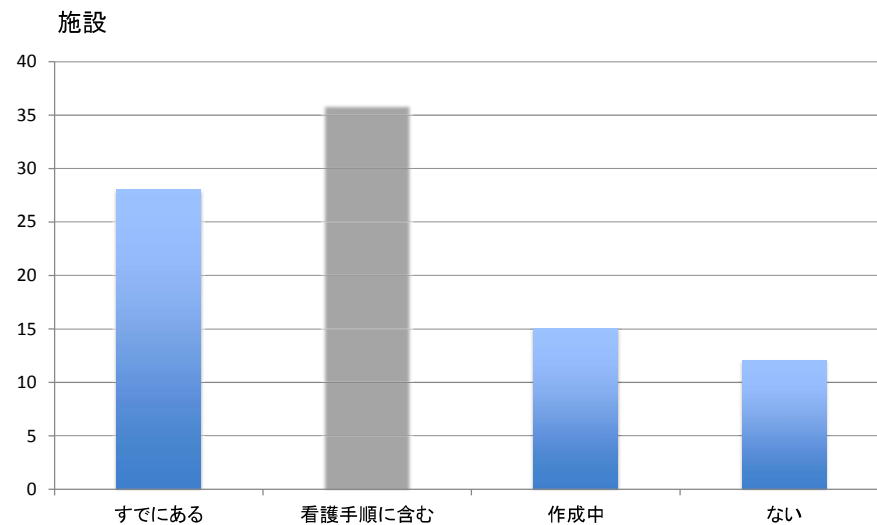
施設規模



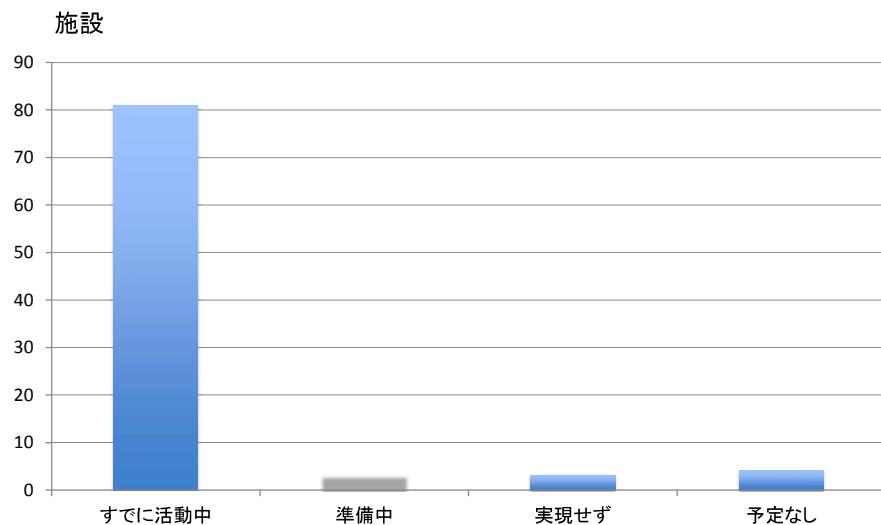
呼吸療法の勉強会



呼吸療法マニュアル



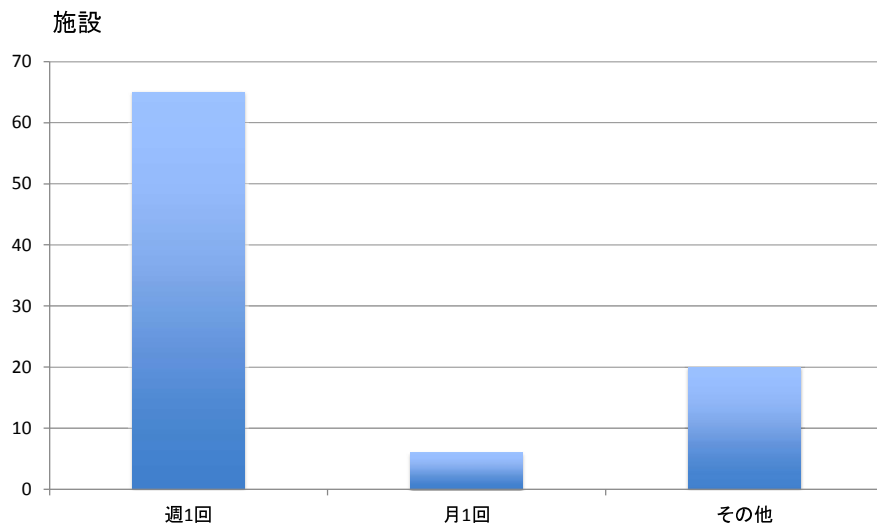
RST活動



「実現せず」の理由

- RSTとしての診療報酬、目的(一般病棟における早期抜管)と当院での人工呼吸器管理患者(神経筋、重心)との差異。
- 呼吸器管理が各診療科単位のため、呼吸器専属担当医師がいない。
- 認定看護師がいないため、安全管理のラウンドとして行っている。
- 内部疾患系の病棟体制がまだない。
- 人工呼吸器患者がいないため院内での優先度が低い。

RSTの活動期間



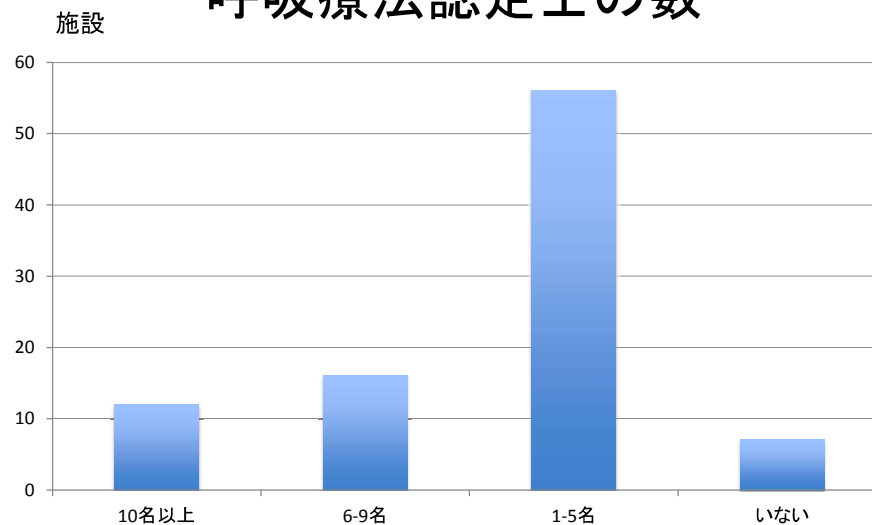
「その他」(1)

- 毎日
- 月2回
- 不定期
- 人工呼吸装着中の患者がいたら(1ヶ月以内までラウンドする)。
- 当院の定めた対象患者が発生した時。
- 依頼があったとき。
- 週数回を企画中。

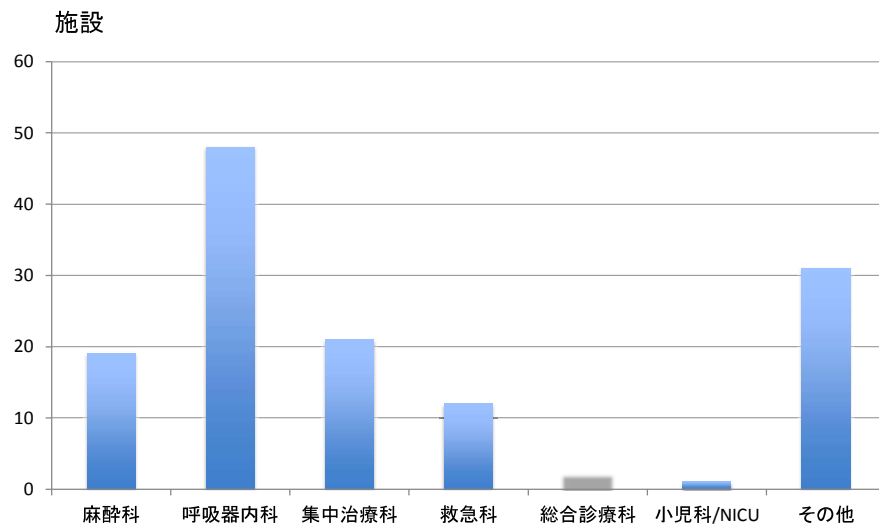
「その他」(2)

- 2か月に1回のミーティング、その間それぞれの活動。
- 週1回+コンサルテーション対応。
対象患者の存在を医師が平日はほぼ毎日調査、対象患者がいれば積極的に関与。
- 週1回 診+一部コンサルテーション。
- 専任スタッフ(米国呼吸療法士/PT1名): 平日午前中のみ回診および患者ケア。医師(4名): 適宜、専任スタッフの相談・指導。会議スタッフ(21名): 2-3ヶ月ごとの会議参加と不定期な半活動。
- 基本週1回だがメンバーが集まればスキップ。
- RSTとしては動いていないが、臨床工学は毎日ラウンド、月1回看護部などとのラウンド。

34メンバー内の呼吸療法認定士の数



34 医師の診療科



「 」

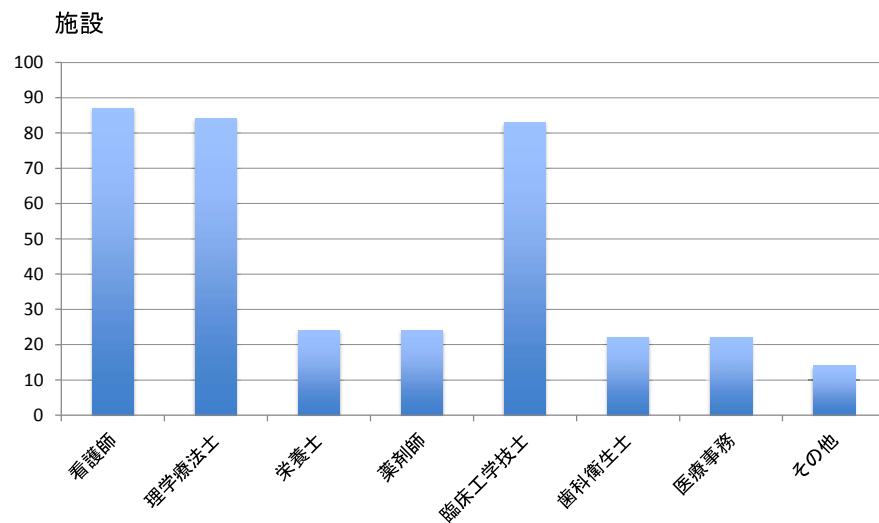
循環器内科(4回答)

呼吸器外科(7回答)

心臓血管外科

- 消化器外科
- 脳外科
- 歯科(3回答)
- リハビリテーション専門医
- RSTとしての医師は不在(5回答)。
- 内科医師2人(医療安全管理室長、部長)、安全管理のラウンドとして行っている。

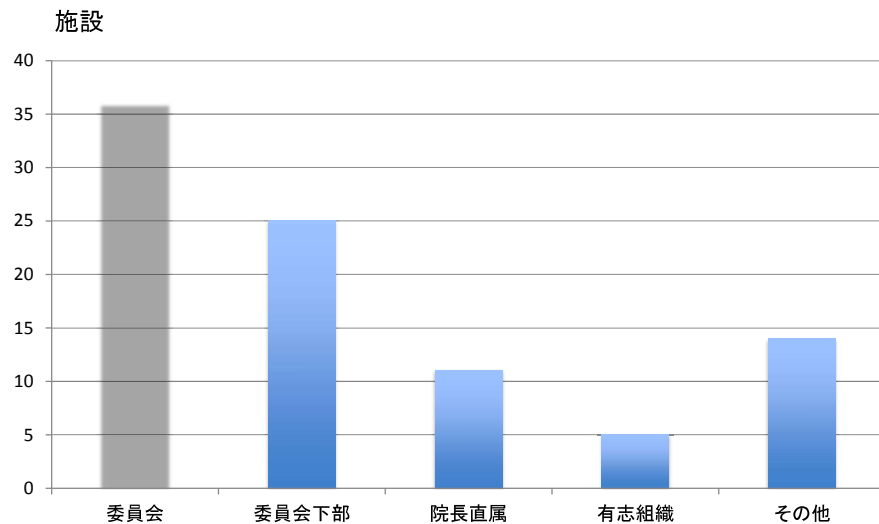
コメディカルの職種



「 」

- 作業療法士(2回答)
- 総務課職員
- 米国呼吸療法士(理学療法士、看護師)
- 臨床検査技師
- MSW

34 の位置付け



「 」

- 安全管理のラウンドとして行っている。
- 安全管理部直属。
- 医療安全対策室に帰属する小委員会。

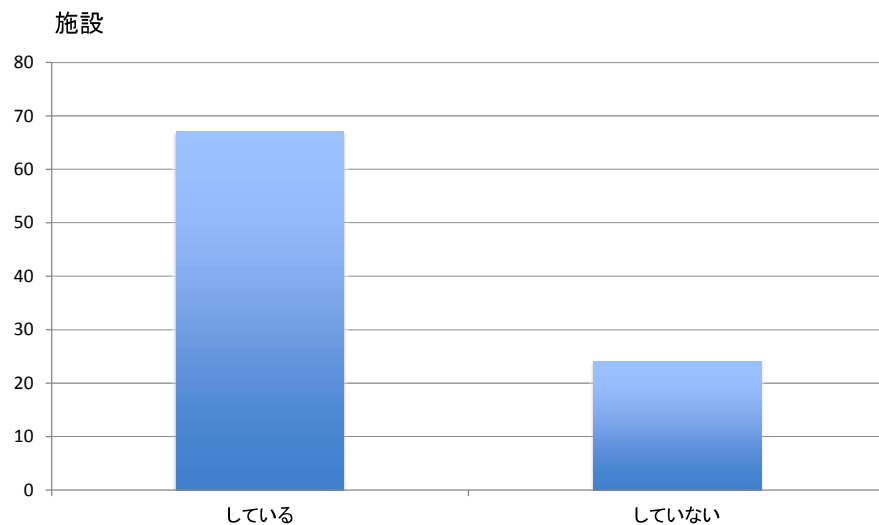
院長直属を提案中。

強いて言えば医療安全(委員長)が直轄、関わる場合は担当医より上位で関与している。

- 呼吸器内科の下部組織。

独立部門

チーム医療加算の申請



「していない」理由

人工呼吸器使用患者は基本的にICUで管理しているため(4 答)。

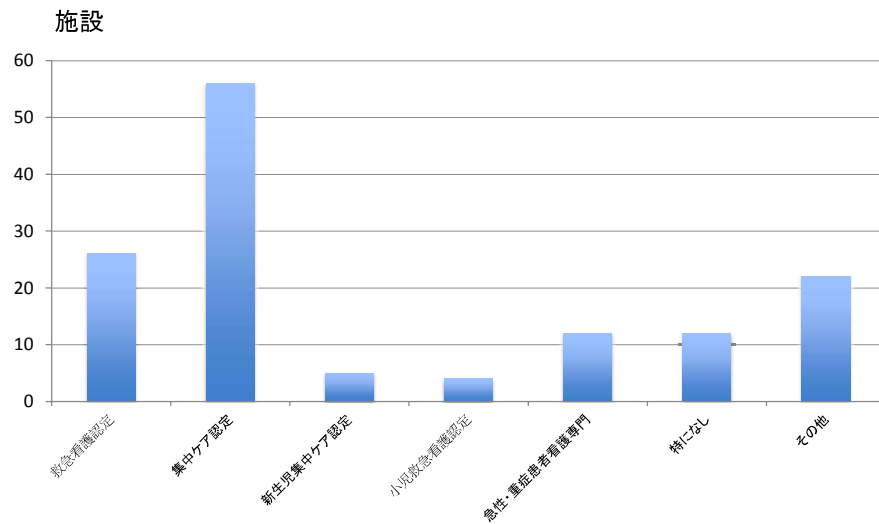
ウィニングを目的とする大半の人工呼吸器患者がICU,HCU管理であるため。

- RSTは無い(4回答)。
- 認定看護師がいない・不在のため。
- 規定に縛られて活動したくない、関わる場合は担当医より上位で関与している、面倒。
- 回診メンバーが要項を満たしていないため。

理学療法士さんが不足している。

- 申請を事務と協議していない。
- 有床診療所のため、算定不可。

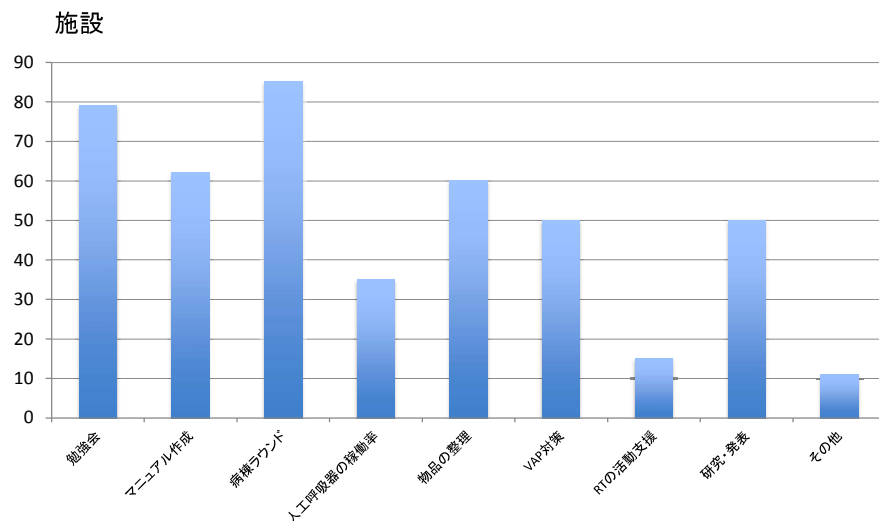
看護師メンバーの資格



「 」

- 3学会合同呼吸療法認定士
- 感染管理認定看護師
- ICN
- 呼吸専門の看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- 米国呼吸療法士
- 慢性呼吸器疾患看護認定(15回答)

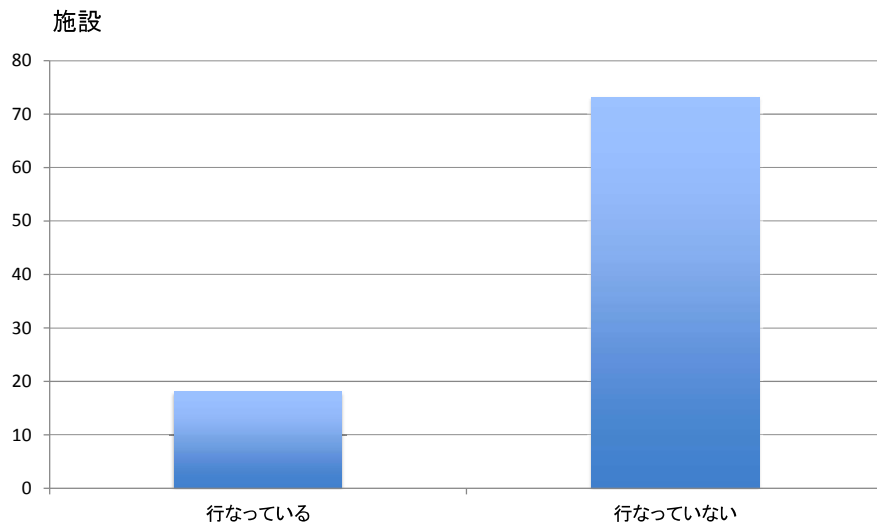
34の活動内容



「 」

- Rapid Response System
- インシデント対策・医療安全(5回答)
- 病棟における呼吸関連のトラブルの窓口(機器、吸痰、ドレナージ、ネブライザー等)。
- 術前呼吸リハビリ、COPD患者リハビリ。
- SBT支援
- 在宅ラウンド
- 若手医師教育

地域での34活動



「行なっている」内容(1)

- 地域のお病院RSTと協同で勉強会や情報共有を行っている。
- スタッフの中には地域でRST研究会の幹事を務めているものもある。
- 呼吸ケア講習会(多職種での勉強の機会)。
- 地域医療従事者対象の研修会開催。
呼吸療法セミナーの開催。
- 市内関連施設の啓発活動。
在宅TPPV患者ケアのネットワークづくり。

「行なっている」内容(2)

- 院内地域連携部門を通しての勉強会の開催。
- 近隣施設へのRST委員会主催の呼吸管理勉強会やWet-Lab等の実施。
- 近隣の施設と連絡とったり、在宅訪問。
- コメディカル向けの「松江呼吸器セミナー」開催(年1回)。
静岡県西部RST交流会を年2回定期開催している。
- 他施設の医療スタッフ向けの勉強会。
東海RST協力会に参加。

34認定・登録制度を知っているか

